

KOIZUMI

取扱説明書

リモコンインテリアファン

110センチインテリアファン
型番 **AEE595029**

110センチインテリアファン
型番 **AEE595030**

90センチインテリアファン
型番 **AEE595031**

90センチインテリアファン
型番 **AEE595032**



工事説明書別添付 保証書付:裏表紙にあります

このたびは、インテリアファンをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」(2、3ページ)を必ずお読みください。
- ・お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- ・保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
お使いになるまえに	5
運転のしかた	6
お手入れのしかた	8
ランプの交換	8
乾電池の交換	8
故障かな!?	9
製品についてのご相談・お問合せ	10
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	11
仕様	裏表紙
保証書	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、修理・改造をしない



分解禁止

感電・発火したり、落下や異常動作してけがなどの原因になります。

・修理は販売店または電気工事店にご相談ください。

■運転中は羽根に触れない



禁止

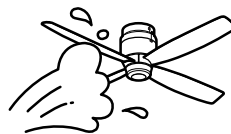


落下や破損してけがなどの原因になります。

■水をかけたり、ぬらさない



水ぬれ禁止



ショートして火災・感電の原因になります。

■異常な振動が発生した場合は、使用を中止する



取り付けがゆるみ、落下して、けがの原因になります。

・修理は販売店または電気工事店の点検を受けてください。

■本体にぶらさがらない



禁止



落下してけがの原因になります。

■お手入れの際は、必ず壁スイッチ、またはブレーカーを切る



不意に作動してけがをしたり、感電の原因になります。



警告

■照明器に布や紙など燃えやすいものをかぶせない



禁止

引火して、
火災の原因に
なります。

■ランプは、インテリアファン専用照明器の取扱説明書で指定されたものを使う



指定以外の電球を使うと
火災の原因になります。



注意

■取り付け・配線工事は販売店または電気工事店に依頼する

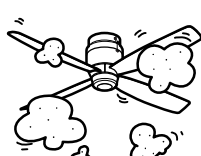


誤った工事は、
漏電して、感電・
火災の原因に
なります。

■油、ホコリの多いところでは使わない



禁止

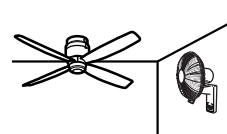


引火やショートして、火災・
感電の原因になります。

■直接、風をあてない



禁止



落下してけがの
原因になります。

■高温(40℃以上)、
多湿(スチームの発生
する場所など)になる
ところでは使わない



水場使用
禁止

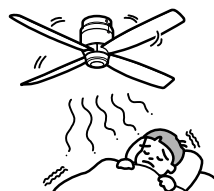


漏電して、火災・感電の原
因になります。

■風を長時間、
体にあてない



禁止



健康を害することが
あります。

■万一、羽根が壊れたと
きは、全部取り替える



振動して落下し、
けがの原因になります。

・修理は販売店または電気
工事店にご相談ください。

■お手入れのときは、
安定した台などを用意
しておこなう



転倒して、
けがをする原因に
なります。

■点灯中・消灯直後は
ランプにさわらない



禁止

やけどや感電
の原因になり
ます。

■殺虫剤をかけたり、
周囲に薬品などを
置かない



禁止

引火して、
火災の原因に
なります。

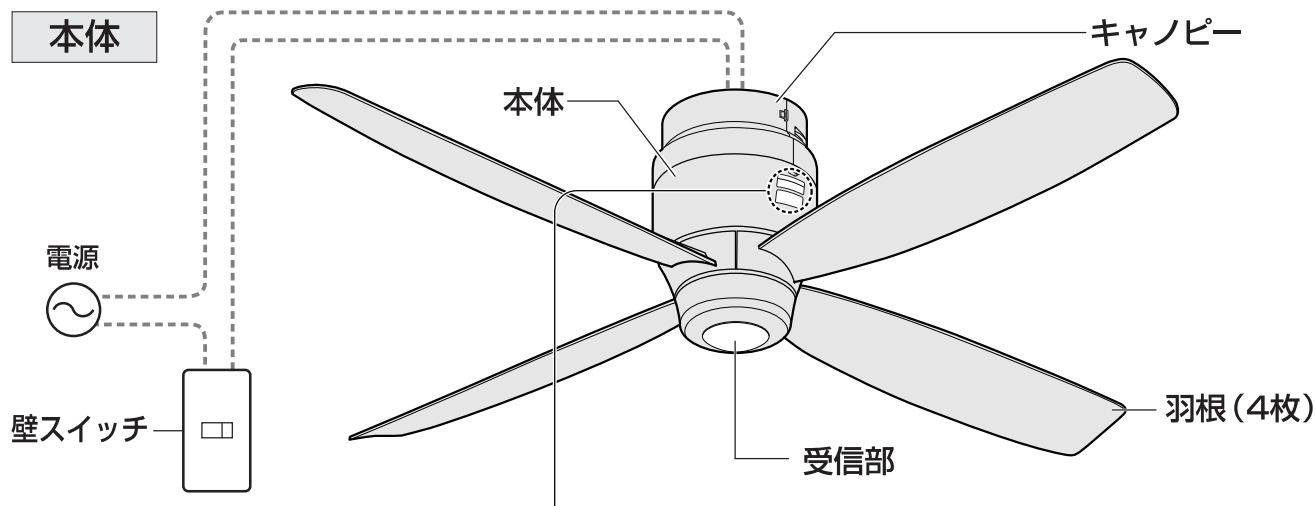
お願い

- リモコンに液状のものをかけたり、リモコンを落としたり、踏んだりしないでください。(故障の原因になります)

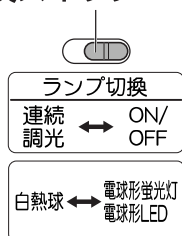
お知らせ

- インテリアファンは、羽根が回転することにより、横揺れ(2~3mm)が起きる場合がありますが、故障ではありません。

各部のなまえ

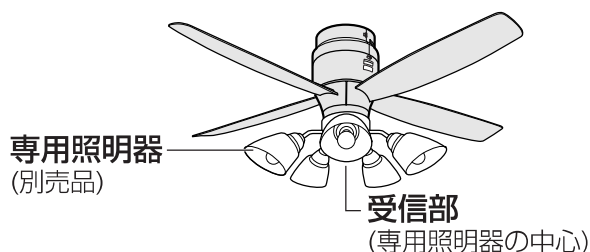


ランプ切換スイッチ



- お使いになるランプに合わせて、ランプ切換スイッチを設定してください。
- ・ お買い上げ時は、ランプ切換スイッチが「電球形蛍光灯/LED」側です。
- 白熱球の場合は調光機能がありますので、設定を間違えると、リモコン操作で明るさ調節ができなくなります。

〈別売の専用照明器を取り付けた場合〉



お願い

- 電球形蛍光灯/LEDをお使いのときは、ランプ切換スイッチを「白熱球」側にしないでください。故障の原因になります。
- 専用照明器以外は取り付けないでください。振動や故障の原因になります。

リモコン

送信部

運転切 ボタン

- 運転を停止します。

1/fゆらぎ ボタン

- 1/fゆらぎ運転を開始します。

運転/風量 ボタン

- 運転を開始します。
- 風量は4段階(強、中、弱、ソフト)から選べます。



表示 ボタン (6ページ)

風向 ボタン

- 風向を上向/下向します。下向のときはボタンが点灯します。

切タイマー ボタン

- 3時間後に運転が停止します。
- 切タイマーを解除します。

明るさ調節 ボタン

- 専用照明器が白熱球の場合にお好みの明るさで調光できます。

照明切/入 ボタン

- 専用照明器を消灯/点灯します。

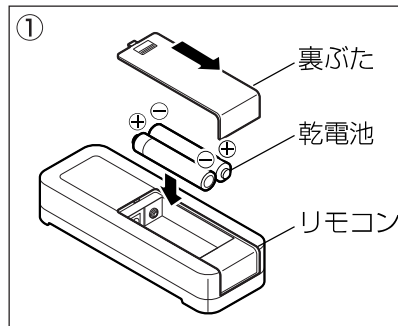
- インテリアファンの操作は、すべてリモコンでおこないます。
- 運転のしかたは6,7ページです。
- ランプ、乾電池の交換は8ページです。

お使いになるまえに

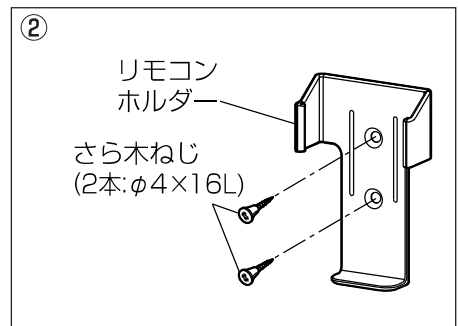
1 リモコンの準備をする

① リモコンに乾電池を入れる

- 裏ぶたを開いて、
⊕ ⊖を間違えないように
入れてください。
- 付属の乾電池はモニター
用です。リモコンがきき
にくい場合は、早めのお取
り替えをおすすめします。



② リモコンホルダーを 取り付ける



2 リモコンの受信を確認する

■本体下端の受信部は、
図1、2のような範囲で受
信します。

■リモコンは受信部に向けて
操作します。

- リモコンはリモコンホル
ダーからはずして操作し
てください。
(リモコンホルダーに差し
込んだ状態で操作しても、
本体が動作しないことが
あります)

図1 真上から見たところ

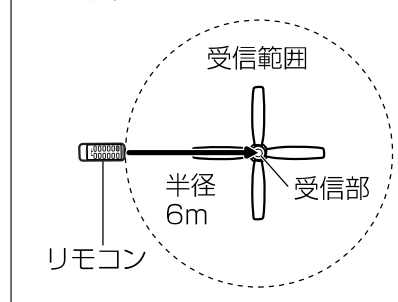
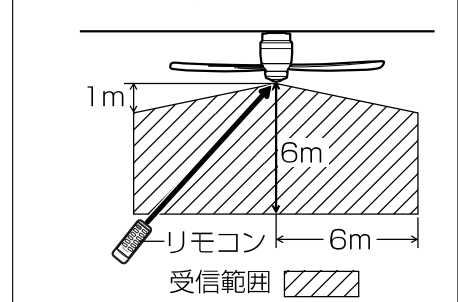


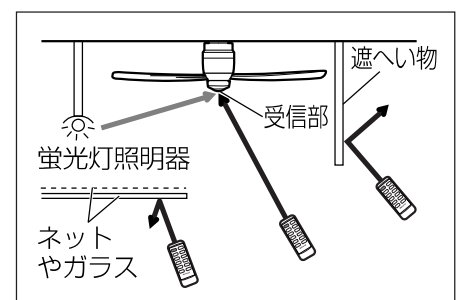
図2 よこから見たところ



- 本体が受信すれば受信音(ピッなど)が鳴ります。
- ボタンを押すと、設定したボタンが約5秒間点灯します。
・ただし、風向ボタン(「上向き」のとき)、表示ボタン、明るさ調節ボタ
ン、照明切/入ボタンは、押しても点灯しません。

■受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信しますので、
右図のように、信号が遮断されたり、または蛍光灯照明器な
どによって、本体が受信できない場合があります。

- 受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影に
なるところ
- ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあ
るところ
- 受信部に蛍光灯照明器の光が直接当たっているところ



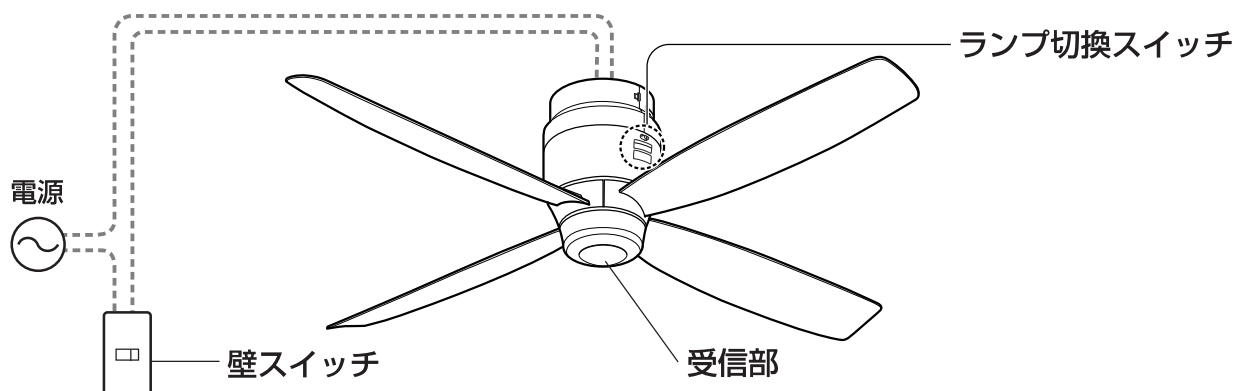
お知らせ

- このリモコンの送信信号を、市販の学習リモコン(ラーニングリモコン)に記憶させてお使いになると、
受信範囲が著しくせまくなることがあります。
- 室温が低いとき(約10℃以下)や蛍光灯照明器を点灯させた直後は、数分間リモコン信号を受信しな
い場合がありますが、故障ではありません。
- 専用照明器(別売品)を点灯させたときは、リモコンの受信範囲が狭くなります。リモコン送信部と
受信部の間に専用照明器がさえぎらないような位置から、受信部に近づけて操作してください。
- 万一、本体が受信しない場合は、一度壁スイッチまたはブレーカーを「切」にし、羽根の回転を妨げるもの
がないか確認し、再度壁スイッチまたはブレーカーを「入」にしてからリモコン操作をおこなってください。
それでも受信しないときは、壁スイッチまたはブレーカーを「切」にして、お買い上げの販売店、
または電気工事店に連絡してください。天井取付部や本体内部に異常がある場合があります。

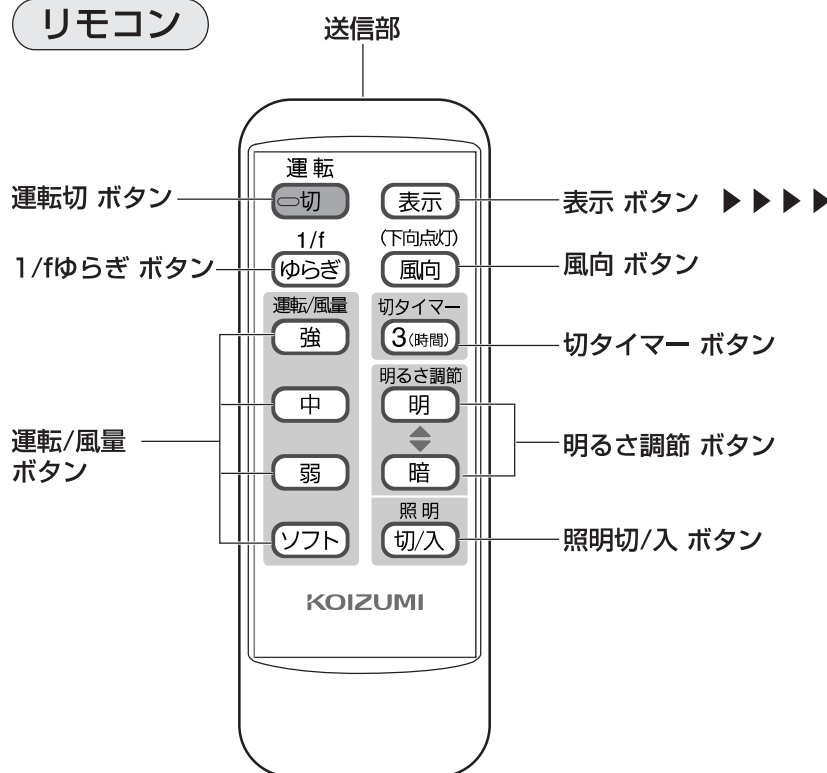
お願い

運転のしかた

本体

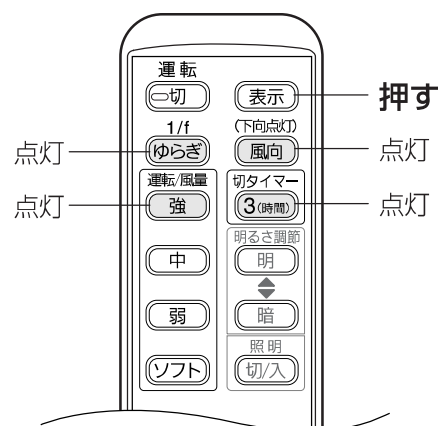


リモコン



運転中に表示ボタンを押すと
運転中のモードをボタンが点灯して
お知らせします (約5秒間)

- 下図は運転モードが「強」、
1/fゆらぎが「入」、
風向きが「下向き」、
切タイマーが「入」のとき



- 照明点灯時でも、照明ボタンは
点灯しません。

お知らせ

- 風向ボタンを押したとき、本体から切換音(カチッ)と若干のうなり音がしますが、異常ではありません。
- 回転開始時、反動で本体が少し動いたり、音がしたりすることがありますが異常ではありません。
- リモコンで運転「切」のときの消費電力は約1.4Wです。
- 壁スイッチが「切」のとき、リモコン操作はできません。
- 専用照明器(別売品)を取り付けている場合、専用照明器は壁スイッチで切/入できます。
(壁スイッチで明るさ調節はできません)
- リモコンで照明「切」にした場合、明るさは記憶されます。
- 冷房や暖房の効果を高めるため、エアコンなどとの併用をおすすめします。

お願い

- 本体が受信しない状態でリモコン操作をすると、リモコンの表示は本体の運転状態と違う表示になります。リモコン操作は、必ず本体に向けて受信音(ピッなど)を確認してください。

壁スイッチが設置されている場合は、
リモコン操作するまえに壁スイッチを「入」にします。

〈インテリアファンを使いたいとき〉

- 専用照明器を取り付けている場合、専用照明器が100%の明るさで点灯します。
- リモコン操作ができる状態になります。

運 転 したいとき 風 量 を変えたいとき	運転/風量 強 中 弱 ソフト	運転/風量ボタン から、 好みのボタン を押す	●「運転/風量」のいずれかのボタンを押してからでないと、他のボタン操作はできません。
1/fゆらぎ を使いたいとき	1/f ゆらぎ	押す	●風量にきめ細かな強弱の変化をつけ、より自然に近い、こちよい風を出します。 ●ふたたび押すと設定が解除されます。
切タイマー を使いたいとき	切タイマー 3(時間)	押す	●3時間がたつと、インテリアファンが運転停止します。 ●ふたたび押すと設定が解除されます。
風 向 を変えたいとき	(下向点灯) 風向	風向ボタン を押す	●羽根の回転方向を切り換えます。 ●ボタンが点灯…風を下向きに送ります。 ⇒夏場など、直接風を当て、涼風感を与えます。 ●ボタンが消灯…風を上向きに送ります。 ⇒冬場など、部屋全体にゆっくりとした風を送り、部屋の空気をかくはんします。
運転を 切 にしたいとき	運 転 切	運転切ボタン を押す	●インテリアファンが運転停止します。 ●専用照明器は消灯できません。

〈専用照明器を使いたいとき〉 (専用照明器を取り付けていない場合は使えません)

照 明 をつけたいとき	照 明 切/入	切/入ボタンを押す	●押すたびに、専用照明器だけが消灯/点灯します。
明るさ調節 をしたいとき	明るさ調節 明 暗	●専用照明器が白熱球の場合に 好みの明るさに調光できます。 ●明を押して明るくします。 ●暗を押して暗くします。	●ランプ切換スイッチを 「白熱球」に設定してください。 (4ページ) ●電球形蛍光灯/LEDのときは、 明るさの調節はできません。

お手入れのしかた

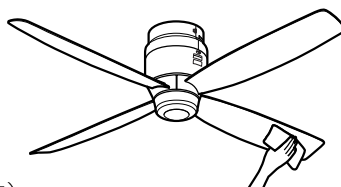
本体、リモコンのお手入れ

(1ヵ月に1回程度)

- ① リモコンを運転「切」にする。
(専用照明器が点灯している場合は消灯する)
- ② 壁スイッチまたは、ブレーカーを「切」にする。

ぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、かたくしぼって汚れをふき取り、からぶきをする。

- 羽根に強い力を加えたりして、羽根の先端の高さを変えないでください。
(本体の横揺れ、振動の原因になります)



- 下図のようなものなどは使わないでください。
(変形、変色の原因になります)
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。



ランプの交換

(専用照明器をお使いの場合)

■ランプの交換は、専用照明器の取扱説明書をよくお読みください。

■ランプを「電球形蛍光灯/LED→白熱球」または「白熱球→電球形蛍光灯/LED」に取り替えるときは、必ずランプ切換スイッチを設定し直してください。(ランプ切換スイッチ：4ページ)

- 明るさ調節ができなくなります。

■ランプは、必ず専用照明器の取扱説明書に記載されているW(ワット)数のものをお使いください。

ランプ切換スイッチ



ランプ切換

連続調光 ↔ ON/OFF

白熱球 ↔ 電球形蛍光灯
電球形LED

乾電池の交換

(乾電池の寿命は約1年です/使用状況によって変わります)

■交換時期のめやす ●リモコンの「運転/風量ボタン(強、中、弱、ソフト)」のいずれかを押してもボタンが点灯しなくなったときなど。

⚠ 注意

リモコンの乾電池を破損するようなことはしない

(⊕ ⊖ を間違えない、交換時古いものや異種のものは使わない、充電しない、ショートさせない、分解・加熱・火への投入はしない、充電式電池(Ni-Cd)は使わない、乾電池を長期間入れたままにしない)

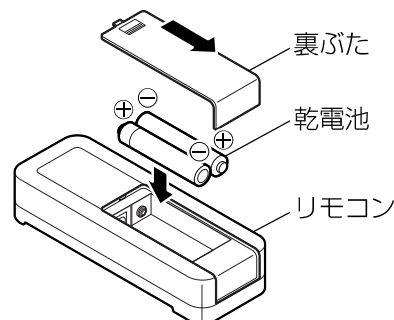


液もれや破損の原因になります。

禁止

■交換のしかた

- 乾電池は、必ず同種の新しいものをお使いください。
- 裏ぶたを開いて、⊕ ⊖ を間違えないように入れてください。



故障かな!?

ちょっとお調べください。

修理を依頼するまえに、一度確かめてみてください。

こんなとき	ちょっとお調べください／処置	参考ページ
運転しない リモコンで作動しない 受信しない	● リモコンの電池切れではありませんか。 → リモコンの「運転/風量ボタン(強、中、弱、ソフト)」のいずれかを押してボタンが点灯することを確認し、点灯しないときは、新しい乾電池と交換する。 ● リモコン乾電池の ⊕ ⊖ が逆になっていませんか。 → 乾電池の向きを正しくする。	8 8
	● 壁スイッチが「切」になっていませんか。	7
	● 受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になっていませんか。 ● ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがありますか。 ● 受信部に直射日光や他の照明器の強い光が当たっていませんか。	5
	● 羽根の回転を妨げるものはありませんか。 → 壁スイッチまたはブレーカーを「切」にし、羽根の回転を妨げるものがないか確認する。再度、壁スイッチまたはブレーカーを「入」にして、リモコン操作をおこなう。 それでも直らないときは、 すぐに壁スイッチまたはブレーカーを「切」にして、お買い上げの販売店または電気工事に修理を依頼してください。天井取付部や本体内部に異常がある場合があります。	5
	● 羽根が破損や変形していませんか。 → ① 壁スイッチまたはブレーカーを「切」にする ② 羽根が破損や変形していないか確認し、破損や変形している場合は、お買い上げの販売店または電気工事に依頼し羽根を全部取り替えてください。 それでも直らないときは、 お買い上げの販売店または電気工事に工事説明書の「取り付け後の点検」を依頼してください。天井取付部や本体内部に異常がある場合があります。	3
(専用照明器をご使用の場合) 明るさ調節ができない	● ランプが「電球形蛍光灯/LED」ではありませんか。 (「電球形蛍光灯/LED」では、明るさ調節ができません) ● ランプが白熱球の場合、ランプ切換スイッチが、「電球形蛍光灯/LED」側に設定されていませんか。 → 「白熱球」側に設定する。	4、7

製品についてのご相談・お問合せ

■保証書付（裏表紙にあります）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

■補修用性能部品の保有期間

弊社は、補修性能部品を製造打ち切り後最低 6 年保有しています。
性能部品とは、その性能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、乾電池は消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・取り扱い・工事などのご相談は、
まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。

（ご贈答やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へのご依頼にできない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。）

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話  0570-055123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話  0570-015123

FAX  0570-025123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取り扱いについて

コイズミ照明株式会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

天井扇

(本体への表示内容)

■経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。

	【設計上の標準使用期間】 15年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、 経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
---	--

(設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものではありません。

■標準的な使用条件 日本産業規格 JIS C9921-1 及び (社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3による

大項目	中項目		小項目	備考
環境条件	電圧		単相100V又は単相200V	機器の定格電圧による
	周波数		50Hz/60Hz	
	温度		30℃	
	湿度		65%	
	設置条件		標準設置	
負荷条件			定格負荷 (風速)	工事説明書・取扱説明書による
想定時間等	扇風機 (含む壁掛け扇、天井旋回扇)	1日あたりの使用時間	8 (h/日)	
		1日使用回数	5 (回/日)	
		1年間の使用日数	110 (日/年)	
		スイッチ操作回数	550 (回/年)	
		首振運転の割合	100 (%)	
	天井扇	1日あたりの使用時間	10 (h/日)	
		1日使用回数	5 (回/日)	
		1年間の使用日数	180 (日/年)	
		スイッチ操作回数	900 (回/年)	
		首振運転の割合	対象外	

※環境条件の湿度65%は、JIS Z8703の試験状態を参考としている。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

※上記の「長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示」は、電気用品安全法の改正に基づき、2009年4月以降生産の製品に記載しています。

愛情点検

長年ご使用のインテリアファンの点検を!



このような症状はありませんか?

- 電源を入れても運転しないときがある
- 回転が遅い、または回転が不規則
- こげくさい臭いがする
- モーター部が異常に熱い



このような症状のときは、事故防止のため、運転を中止し、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

仕様

●風量が「強」、風向が「下向き」のときの値です。

型 番	電 圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	回転数 (r/min)	風 速 (m/min)	風量 (m ³ /min)	本体質量※ (kg)
AEE595029 AEE595030	100	50/60	12/12	115/115	102/102	90/90	2.9
AEE595031 AEE595032	100	50/60	5/5	115/115	84/84	67/67	2.7

●リモコンで運転「切」のときの消費電力は約1.4Wです。

※本体質量は、取付金具とリモコンを除いた質量です。

●この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。
また、アフターサービスもできません。

コイズミ インテリアファン保証書

＜ 保 証 に つ い て ＞

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- 電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

＜アフターサービスについて＞

- 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 弊社は補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※ 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または、コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問い合わせください。

※ This warranty is valid only in Japan.

保証期間（お引き渡し日より）

1 年間

お買上年月日

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お
客
様

お名前

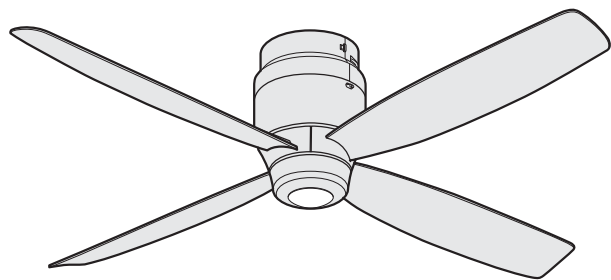
ご住所

電話 ()

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

MK29W8911L



KOIZUMI

工事説明書 リモコンインテリアファン

110センチインテリアファン
型番 **AEE595029**

90センチインテリアファン
型番 **AEE595031**

110センチインテリアファン
型番 **AEE595030**

90センチインテリアファン
型番 **AEE595032**

製品を安全に設置し

お使いいただくために、

この工事説明書をよく

お読みのうえ、工事手順

に従って工事を進めて

ください。

お客様への取り扱い説明

取扱説明書に基づいて製品の取り扱いを説明してください。

保証書は必要事項を記入のうえ、工事説明書および取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

もくじ

ページ

●安全上のご注意	2
●各部のなまえと付属品	4
●取り付けるまえに	6
1.本体の取り付け場所を決める	6
2.壁スイッチを設置する	7
3.取付面の強度を確認する	7
●本体を取り付ける	8
1.天井材、引掛シーリングを確認し、 取り付けかたを決める	8
2.取付金具を取り付ける	9
3.本体に羽根を取り付ける	12
4.本体に羽根カバー、センサーカバーを 取り付ける	12
5.引掛シーリングキャップを取り付ける	13
6.本体をつるす	13
7.キャノピーを取り付ける	15
●ランプ切換スイッチについて	15
●リモコンの受信を確認する	16
●取り付け後の点検	17
●外形寸法	18
●結線図	19
●仕様	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に改造しない



分解禁止

感電・発火したり、落下して、けがなどの原因になります。

■交流100V以外では使わない



禁止

過熱して、火災や感電の原因になります。

■施工は説明書に従い、確実にこなう



不備な施工は、火災・感電・落下によるけがの原因になります。

・施工は電気工事士の資格者がおこなってください。

■施工は必ず電源を切ってからこなう



不意に作動してけがをしたり、感電の原因になります。

■配線ケーブルを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



禁止

痛んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

■樹脂製アウトレットボックスには取り付けない



禁止



落下の原因になります。

⚠ 注意

■ ガスレンジなど炎の近く、引火性のガスのある場所に取り付けない



禁止

炎の立ち消え、引火、爆発やショートして、火災・感電の原因になります。

■ 取り付け・配線工事は販売店または電気工事店に依頼する（設置工事は電気工事士法・電気設備技術基準に従って確実にこなう）



誤った工事は、漏電して、感電・火災の原因になります。

■ 温室・浴室など高温（40℃以上）、多湿（スチームの発生する場所など）になる場所には取り付けない



水場使用
禁止

漏電して、火災・感電の原因になります。

■ 油、ホコリの多い場所には取り付けない



禁止

引火やショートして、火災・感電の原因になります。

■ 振動や衝撃の大きい場所に取り付けけない



禁止

落下してけがの原因になります。

■ 十分強度のあるところに確実に取り付ける



落下してけがの原因になります。

■ 付属のワイヤーは必ず取り付ける



落下してけがの原因になります。

■ 万一、羽根が壊れたときは、全部取り替える



禁止

異常振動により、落下してけがのおそれがあります。

・羽根の交換は4枚セットでおこないます。

■ 調光器と組み合わせて使用しない

調光機能付壁スイッチなどの調光器と組み合わせて使用しないでください。



禁止

火災の原因になることがあります。

・調光器の取りはずしが必要です。調光器の取りはずしには資格が必要です。工事店・電気店に依頼してください。

■ 薬品のある場所、酸、アルカリを使う場所には取り付けない



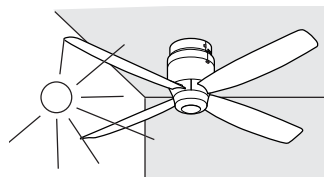
禁止

変形・変質により落下して、けがの原因になります。

お願い

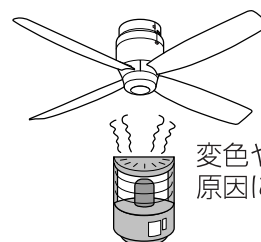
■ 次の場所には取り付けないでください。

・ 直射日光の当たる場所



樹脂部分の変色や変質の原因になります。

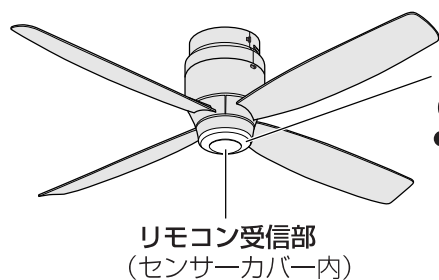
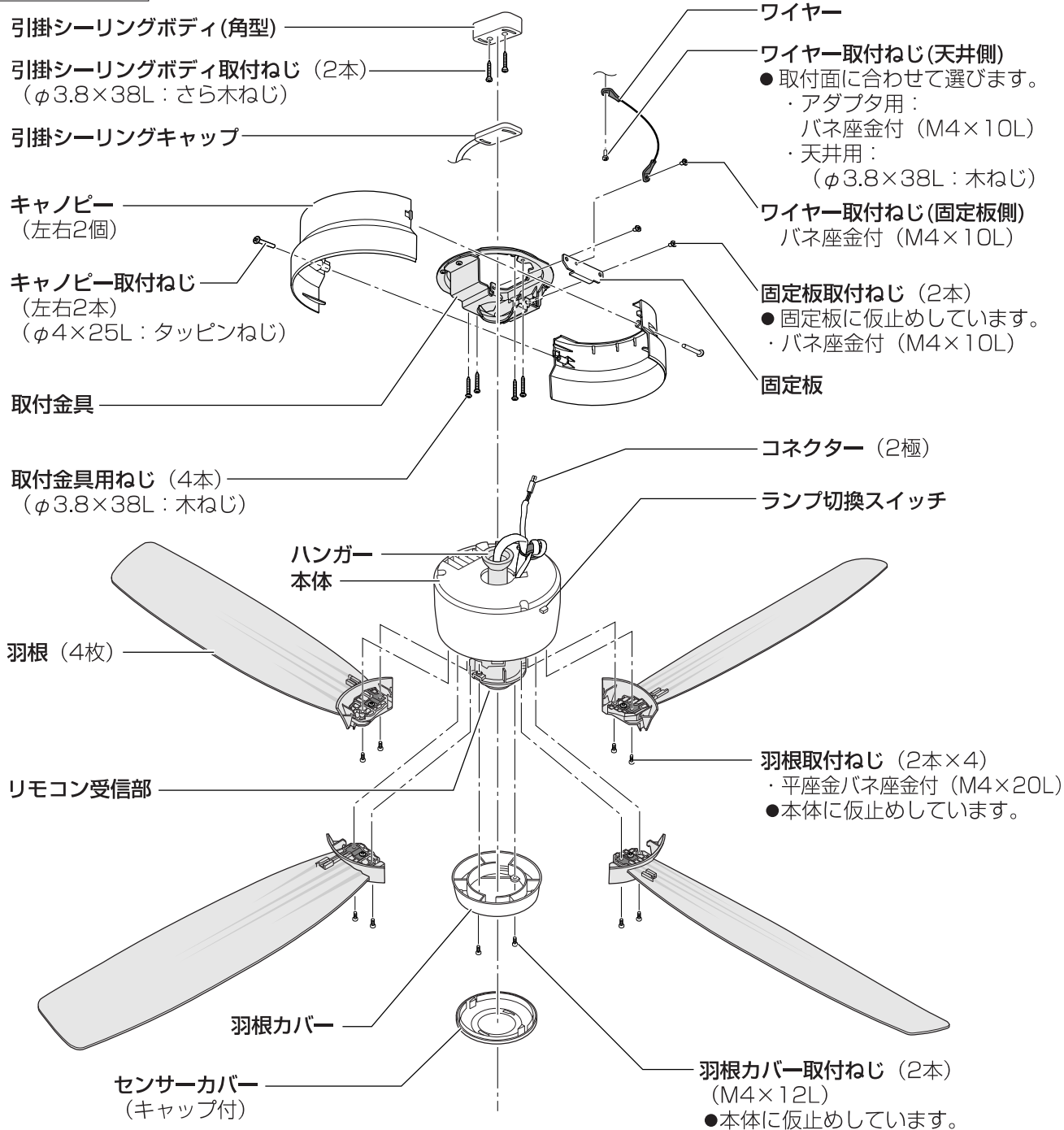
・ 熱気や温風のあたる場所



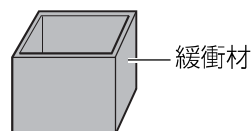
変色や故障の原因になります。

各部のなまえと付属品

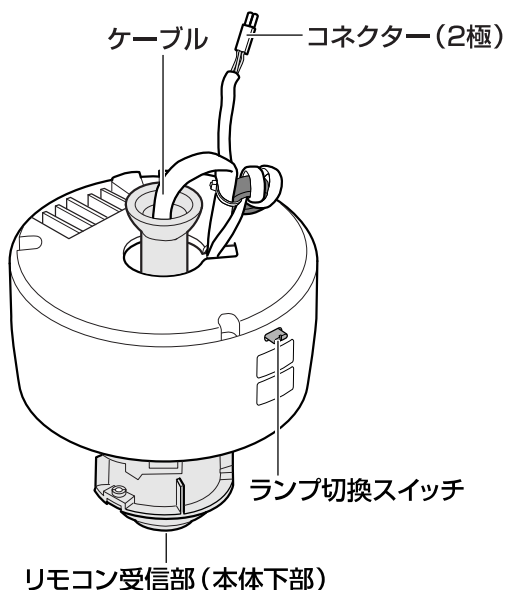
展開図



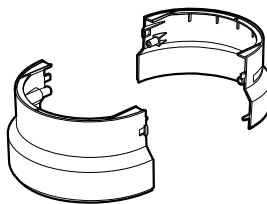
■緩衝材(本体保護用ダンボール)
羽根を取り付けるときに使います。
(12ページ)



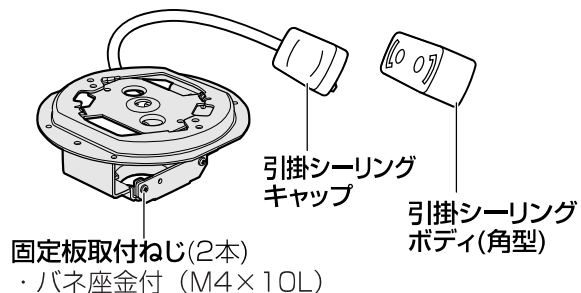
■本体



■キャノピー (左右2個)



■取付金具 (1個)



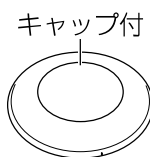
■羽根 (4枚)



■アダプタ (1個)



■センサーカバー (1個)



〈付属品・ねじ袋の中身〉

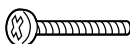
■リモコンホルダー取付ねじ (φ4×16L：さら木ねじ) (2本)



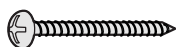
■ワイヤー



■キャノピー取付ねじ (φ4×25L：タッピンねじ) (2本)



■取付金具用ねじ (φ3.8×38L：木ねじ) (4本)



■引掛シーリングボディ取付ねじ (φ3.8×38L：さら木ねじ) (2本)



■ワイヤー取付ねじ (バネ座金付) (M4×10L) (2本)



● アダプタ用 ● 固定板用

■ワイヤー取付ねじ (φ3.8×38L：木ねじ) (1本)



● 天井用

■アダプタ用小ねじ (平座金バネ座金付) (M3.5×12L) (2本)



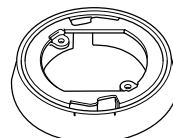
● 引掛ローゼット用

■取付金具用小ねじ (平座金バネ座金付) (M4×12L) (2本)



● アダプタ用

■羽根カバー (1個)

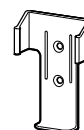


〈付属品・リモコン〉

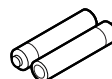
■リモコン (1個)



■リモコンホルダー (1個)



■乾電池 (単3形) (2個)



取り付けるまえに

⚠ 注意

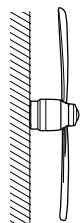
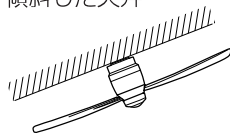
こんな場所には取り付けない



禁止

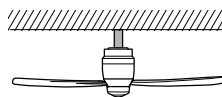
この製品は天井面取付専用です。指定場所以外に取り付けると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

傾斜した天井

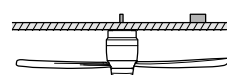


壁面

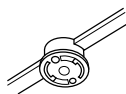
不安定な場所
(幅のせまい板など)



補強のない薄い場所
(ベニヤ板や石膏ボードなど)



配線器具がケースウェイに取り付いているもの



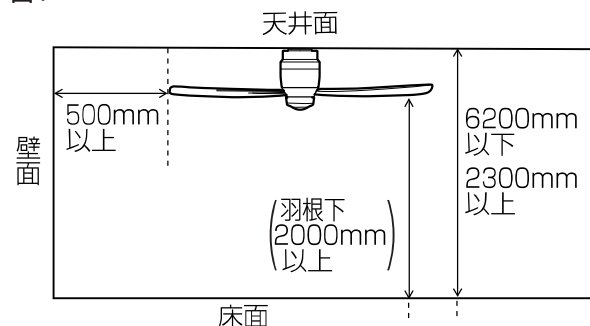
1 本体の取り付け場所を決める

■安全上のご注意(2～3ページ)と、リモコンの受信を確認する(16ページ)を考慮して、本体の取り付け場所を決めます。

■本体の取り付けは、必ず、図1の寸法が確保できるところに取り付けてください。

本体とまわりの壁面との間がせまい場合や天井が平らでない場所(掘り天井など)に取り付けた場合、空気の流れて、性能が低下したり、本体がゆれたりします。

図1

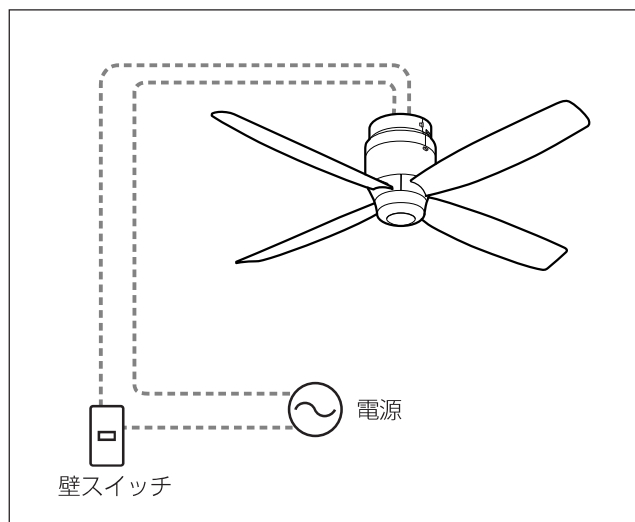


2 壁スイッチを設置する

- リモコンで「切」にしても消費電力は、約1.4Wを消費しています。運転しないときは節電のため、こまめに壁スイッチを「切」にしてください。
- リモコンの紛失、電池切れ時に壁スイッチで専用照明器(別売品)の切/入ができます。ただし壁スイッチでは、専用照明器の調光はできません。
- 本体1台に対し、壁スイッチ1個を単独で接続することをおすすめします。

配線材、壁スイッチは本体に付属していませんので、市販品をお使いください。

- 配線材は、 $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ で、単線を使用してください。
- 壁スイッチ(またはブレーカー)を「切」にして施工してください。



(壁スイッチの配線は上図のようにしてください)

3 取付面の強度を確認する

- 羽根の回転にともない、強い回転力が加わります。取り付け場所は、**全体質量***の約10倍の荷重に耐えられる強度を確保してください。

※専用照明器(別売品)を取り付ける場合は、専用照明器を含めた全体質量になります。

補強のしかたは、右図「補強の施工例」を参考にしてください。

⚠ 注意

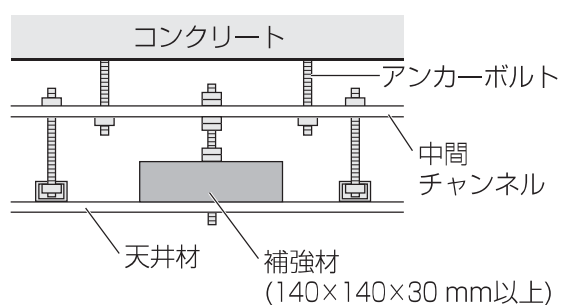


十分強度のあるところに確実に取り付け

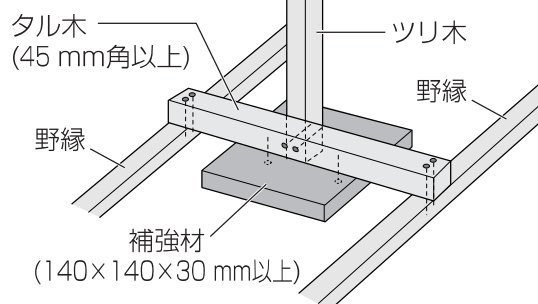
落下して、けがの原因になります。

■補強の施工例

【軽量鉄骨の場合】

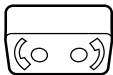
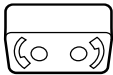
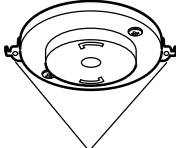


【木造の場合】



本体を取り付ける

1 天井材、引掛シーリングを確認し、取り付けかたを決める

A：引掛シーリングが取り付けいていない場合 ■付属の引掛シーリング (角型)を使います。 	➡ 9ページ
B：すでに引掛シーリングが取り付けいている場合 ■角型引掛シーリング ■丸型引掛シーリング  	➡ 10ページ
■引掛ローゼット (ハンガーあり)  ハンガー	➡ 11ページ

2 取付金具を取り付ける

A：引掛シーリングが取り付けいていない場合

① 天井の強度を確認する（7ページ）

- 取付面の強度を十分に確認し、必要な場合は、補強してください。

② 付属の引掛シーリングボディを取り付ける

- 引掛シーリングキャップをはずし、付属の引掛シーリングボディに、電源線を確実に差し込み、接続します。適合電線は単線の $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ です。



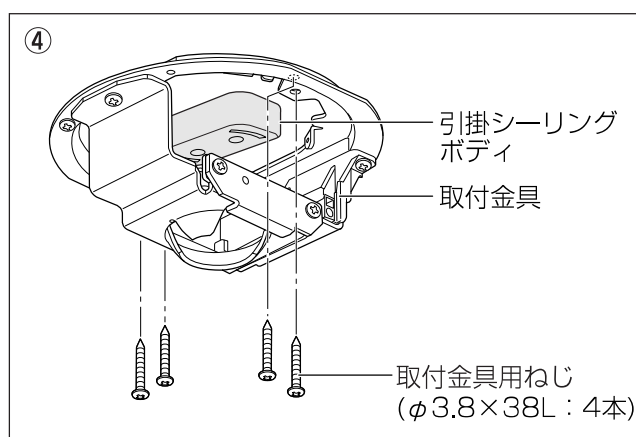
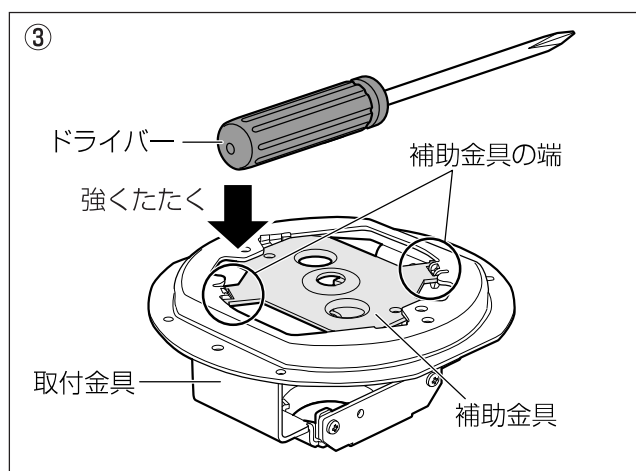
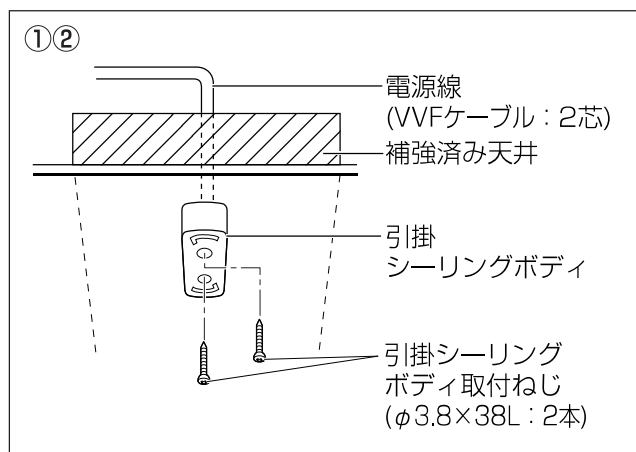
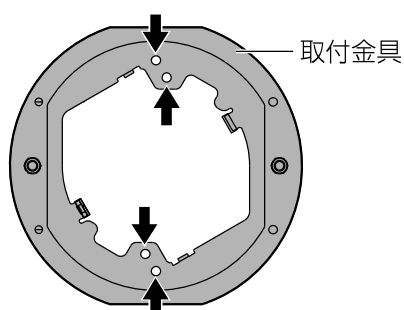
- 補強済みの天井に、付属の引掛シーリングボディ取付ねじ($\phi 3.8 \times 38L$)2本で、引掛シーリングボディを取り付けます。

③ 補助金具をはずす

- 中央の補助金具の端(イラストの○印:2ヵ所のうち片方)をドライバーで強く叩たたいてはずしてください。

④ 取付金具を付属の取付金具用ねじ($\phi 3.8 \times 38L$)4本で取り付ける

- 取付金具用ねじ(4本)は取付金具の穴(矢印)に取り付けてください。(下から見た図)



■ 引掛シーリングキャップは、本体をつるすまゑに取り付けます。(13ページ)

本体を取り付ける

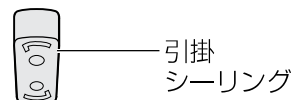
B：すでに引掛シーリングが取り付けられている場合〈角型、丸型引掛シーリング〉

① 天井の強度を確認する（7ページ）

- 取付面の強度を十分に確認し、必要な場合は、補強してください。

（イラストは角型引掛シーリングで説明しています）

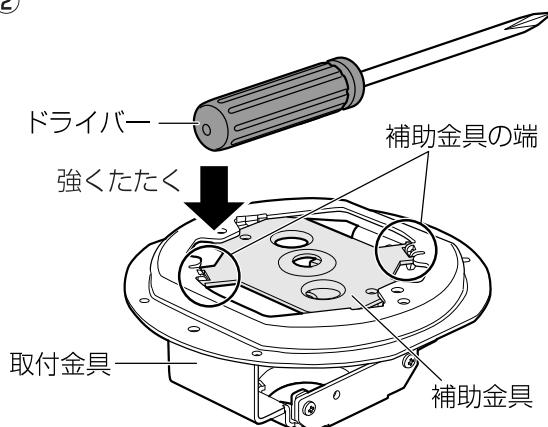
①



② 補助金具をはずす

- 中央の補助金具の端（イラストの○印:2カ所のうち片方）をドライバーで強く叩たたいてはずしてください。

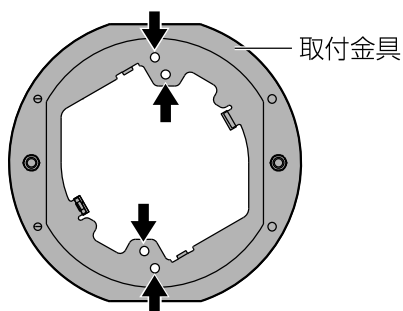
②



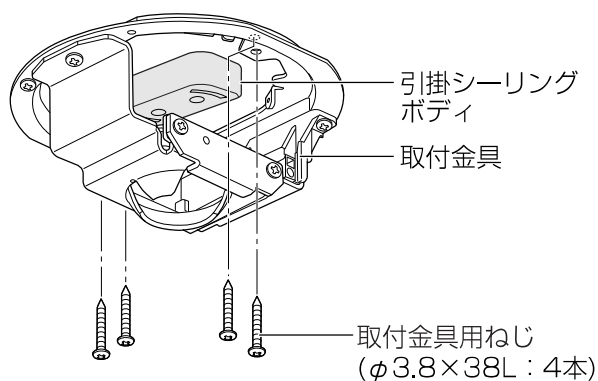
③ 付属の引掛シーリングボディから引掛シーリングキャップを取りはずす

④ 取付金具を付属の取付金具用ねじ（φ3.8×38L）4本で取り付ける

- 取付金具用ねじ（4本）は取付金具の穴（矢印）に取り付けてください。（下から見た図）



④



■ 引掛シーリングキャップは、本体をつるすまゑに取り付けます。（13ページ）

B：すでに引掛シーリングが取り付けられている場合〈引掛ローゼット(ハンガーあり)〉

- ① 引掛ローゼットが天井に直付けの場合は、天井の強度を確認する（7ページ）

② 補助金具をはずす

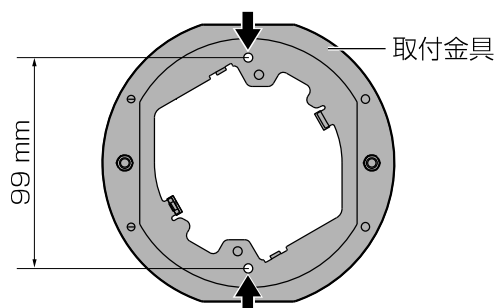
- 中央の補助金具の端(イラストの○印:2カ所のうち片方)をドライバーで強く叩いてはずしてください。

- ③ 付属の引掛シーリングボディから引掛シーリングキャップを取りはずす

- ④ アダプタを付属のアダプタ用小ねじ(M3.5×12L)2本で引掛ローゼットに取り付ける

- ⑤ 取付金具を付属の取付金具用小ねじ(M4×12L) 2本で取り付ける

- 取付金具用小ねじ(2本)は取付金具の穴(矢印)に取り付けてください。(下から見た図)



- 引掛シーリングキャップは、本体をつるすまえに取り付けます。（13ページ）

警告



禁止

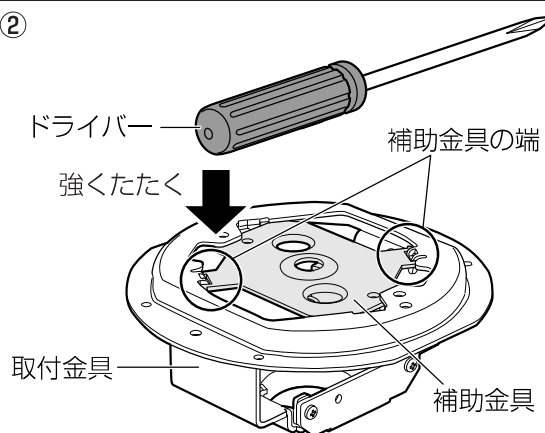
樹脂製アウトレットボックスには取り付けない

樹脂製アウトレットボックス

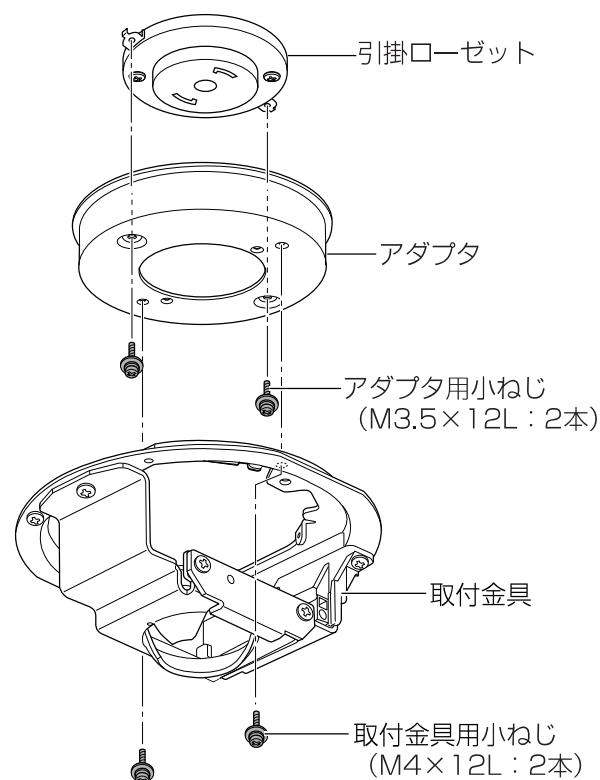


落下の原因になります。

②



④⑤



本体を取り付ける

3 本体に羽根を取り付ける

① 本体の下にポリ袋と緩衝材を敷く

- リモコン受信部を上、ハンガーを下側に向け、緩衝材の中に入れてください。
- 必ず梱包ケースの中にある緩衝材をお使いください。

② 本体に羽根を取り付ける

- 本体に仮止めしている羽根取付ねじ (M4×20L：平座金バネ座金付)8本をそれぞれ、2本ずつ使います。
- 羽根には、裏表があります。羽根にはってあるラベルを下側にして取り付けてください。

お願い

- 羽根は1台が4枚セットになっています。複数のインテリアファンを取り付けるときは、他のインテリアファンの羽根と混せて使わないでください。

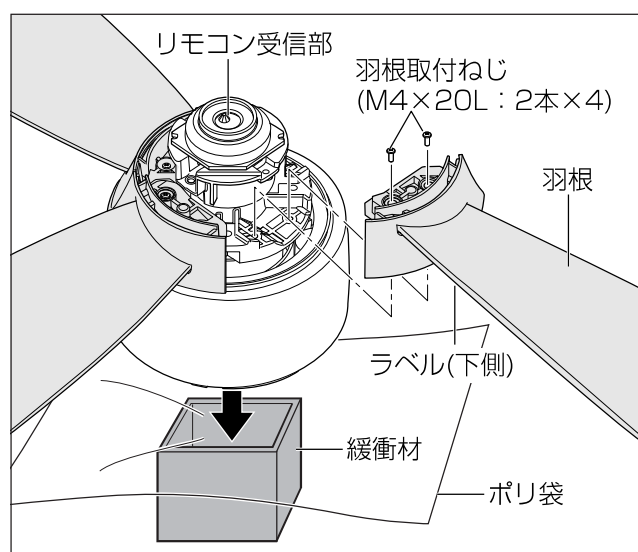
⚠ 注意



禁止

羽根取付ねじは、
電動工具で締めつけない

本体ねじ穴のねじ山がつぶれて羽根が
落下し、けがの原因になります。



4 本体に羽根カバー、センサーカバーを取り付ける

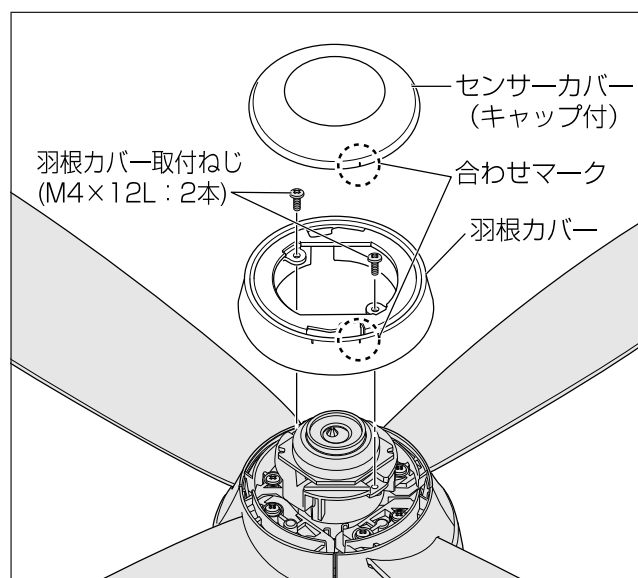
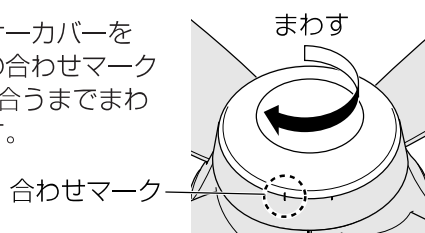
① 羽根カバーを取り付ける

- 本体に仮止めしている羽根カバー取付ねじ (M4×12L)2本をはずし、羽根カバーを本体に取り付けます。

② センサーカバー(キャップ付)を取り付ける

- センサーカバーの合わせマーク(┆)を羽根カバーの合わせマーク(右図)に向けて差し込みます。

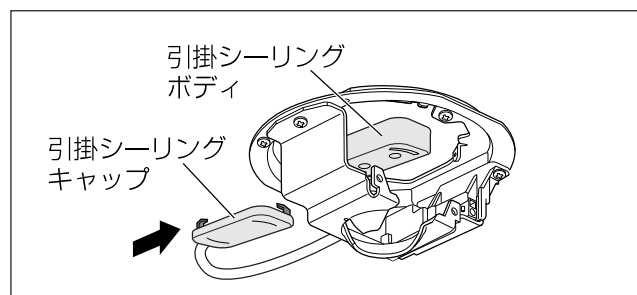
- センサーカバーを左側の合わせマーク(┆)に合うまでまわします。



5 引掛シーリングキャップを取り付ける

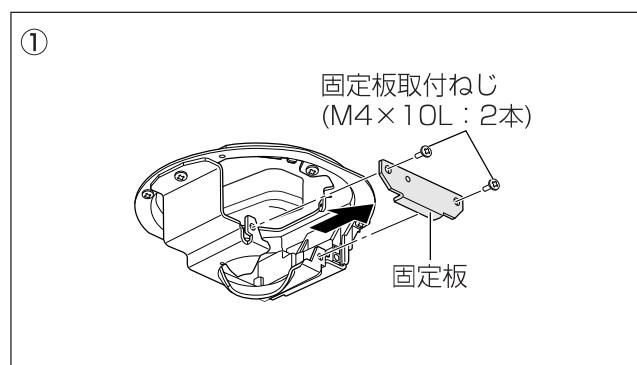
- 引掛シーリングボディ、または引掛ローゼット(ハンガーあり)に、引掛シーリングキャップを取り付けます。

(イラストは引掛シーリングボディで説明しています)



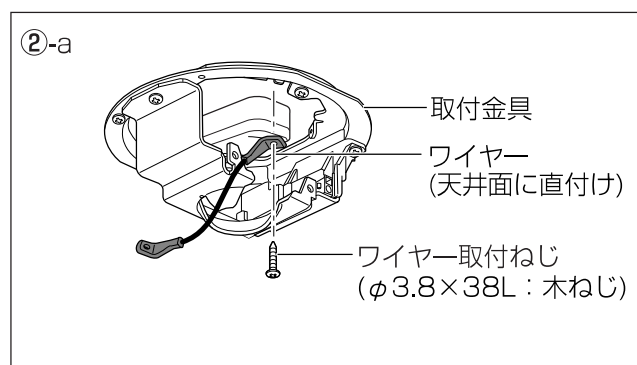
6 本体をつるす

① 取付金具から固定板をはずす

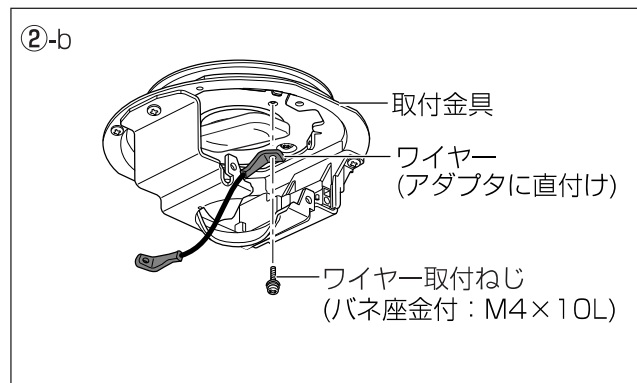


② ワイヤーを付属の取付ねじで天井側にしっかり固定する

- a : 角型、丸型引掛シーリングの場合
ワイヤー取付ねじ(天井用)
($\phi 3.8 \times 38L$: 木ねじ)を使う
● 取付金具内の天井に直付けします。



- b : 引掛ローゼット(ハンガーあり)の場合
ワイヤー取付ねじ(アダプタ用)
(バネ座金付 : M4×10L)を使う
● アダプタに直付けします。



本体を取り付ける

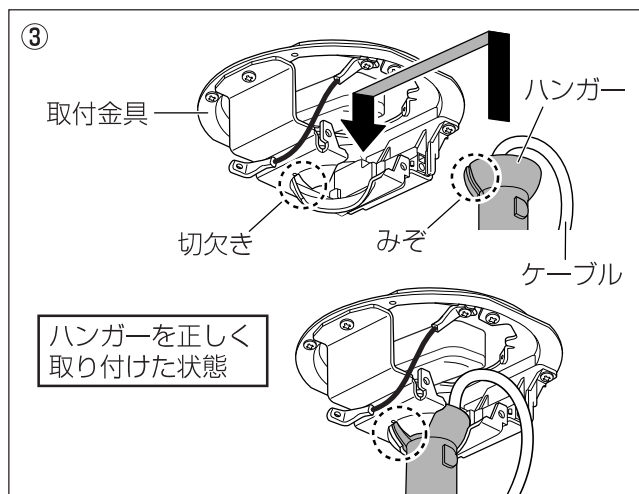
③ 取付金具にハンガーを取り付ける

本体を持つときは、羽根部分を持たないでください。羽根先端の高さが狂い、振れの原因になります。

ケーブルを持って本体をつり下げたり、持ち運んだりしないでください。

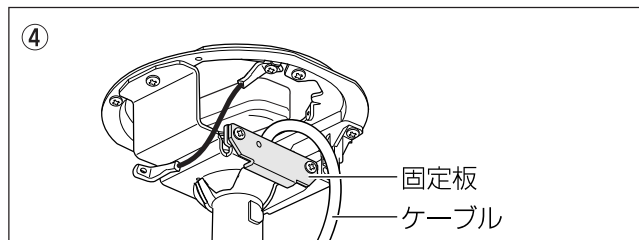
- ハンガーのみぞは、必ず取付金具の切欠きに合わせてください。

みぞが切欠きにはまっていない場合は、揺れ、異常音の原因になります。



④ 固定板を再び取付金具に取り付ける

- ケーブルは固定板の外側に出します。



⑤ ワイヤーを付属のワイヤー取付ねじ (固定板用) (バネ座金付：M4×10L) で固定板にしっかり固定する

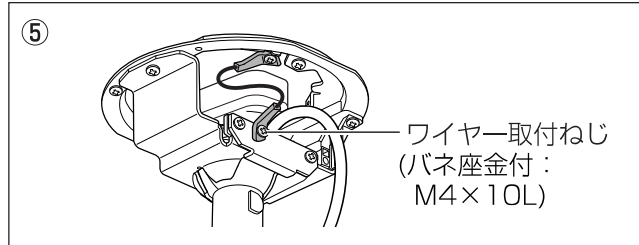


注意

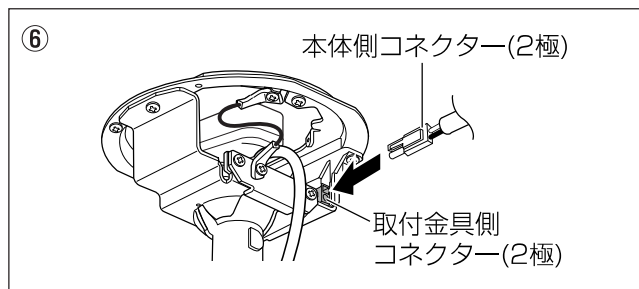
ワイヤーは必ず取り付ける



落下して、けがの原因になります。



⑥ 本体のコネクター(2極)を取付金具のコネクターに接続する



「本体をつるす」作業は終わりです。下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック

- ① ハンガーのみぞは必ず取付金具の切欠きに合わせること
- ② 固定板は必ずねじ2本で取り付けること
- ③ ワイヤーは必ず取り付けること
- ④ 本体側コネクター(2極)を取付金具側コネクターに接続すること

確認

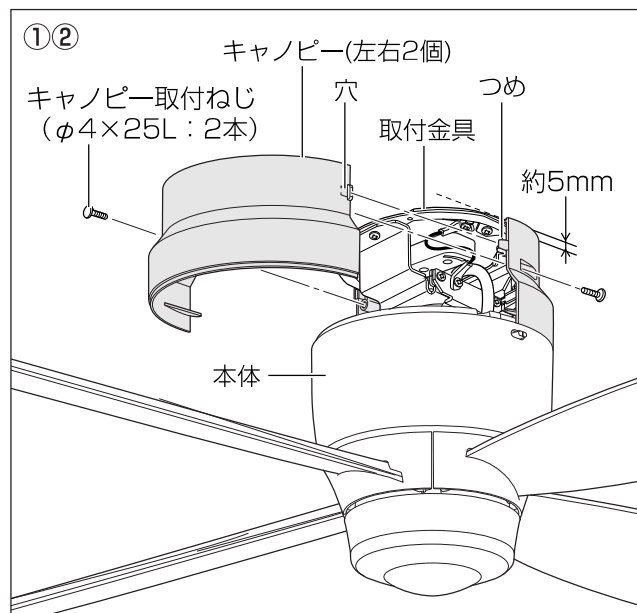
☐
☐
☐
☐

7 キャノピーを取り付ける

① 取付金具の形状に合わせて、 キャノピーを両側からはさみ込む

- つめと穴がはまり合います。(2カ所)
- 天井とのすき間は約5mmあきます。
(天井と接触し、振動しないため)

② キャノピーを付属のキャノピー取付ねじ ($\phi 4 \times 25L$)2本でしっかり固定する



下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック

- ①キャノピーは必ず取付ねじで固定されていること
- ②キャノピーは本体の上部に乗り上げていないこと

確認

☐
☐

ランプ切換スイッチについて

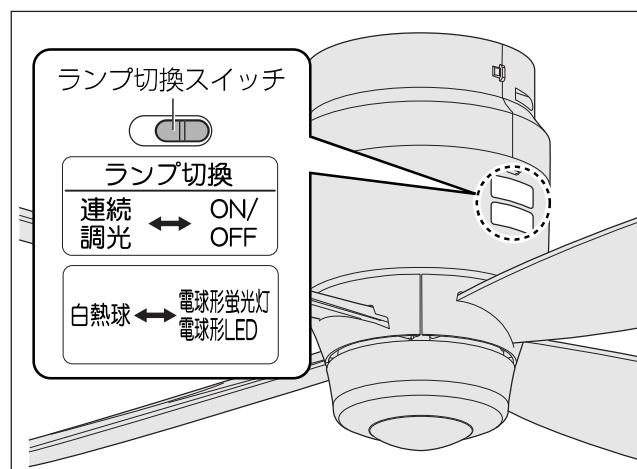
■ お使いになるランプに合わせて、ランプ切換 スイッチを設定してください。

- お買い上げ時は、ランプ切換スイッチが
「電球形蛍光灯/LED」側です。

■ 白熱球の場合は調光機能がありますので、 「白熱球」側に切り換えてください。 設定を間違えると、リモコン操作で明るさ調節 ができなくなります。

お願い

- 電球形蛍光灯/LEDをお使いのときは、ランプ切換
スイッチを「白熱球」側にしないでください。
故障の原因になります。
- 専用照明器以外は取り付けないでください。
振動や故障の原因になります。

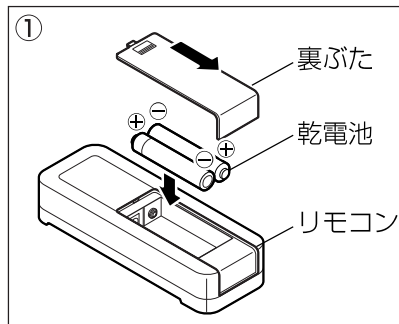


リモコンの受信を確認する

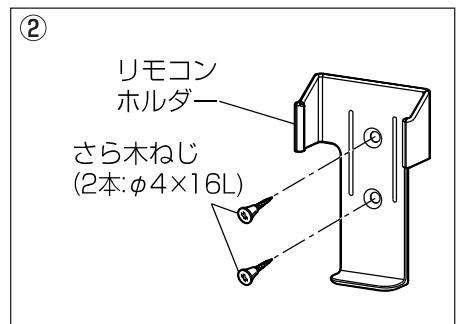
1 リモコンの準備をする

① リモコンに乾電池を入れる

- 裏ぶたを開いて、
⊕ ⊖ を間違えないように
入れてください。



② リモコンホルダーを取り付ける



2 リモコンの受信を確認する (壁スイッチを「入」にする)

■ 本体下端の受信部は、
図1、2のような範囲で受
信します。

■ リモコンは受信部に向けて
操作します。

- リモコンはリモコンホル
ダーからはずして操作し
てください。
(リモコンホルダーに差し
込んだ状態で操作しても、
本体が動作しないことが
あります)

図1 真上から見たところ

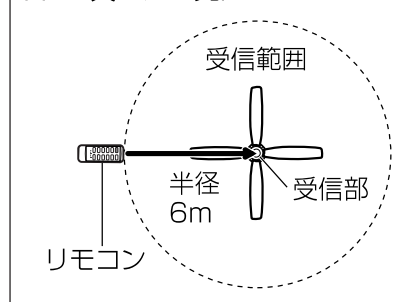
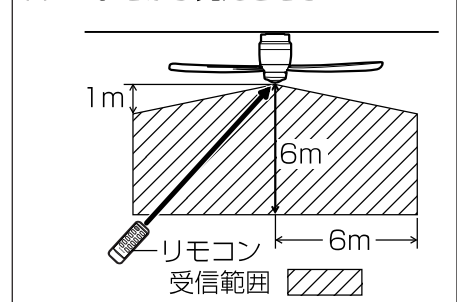


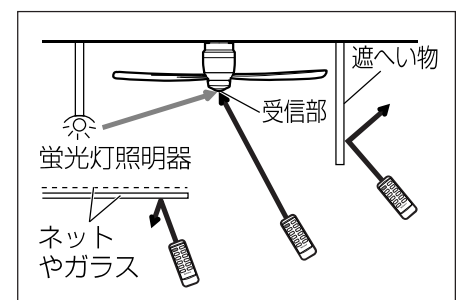
図2 よこから見たところ



- 本体が受信すれば受信音(ピッなど)が鳴ります。
- ボタンを押すと、設定したボタンが約5秒間点灯します。
・ただし、風向ボタン(「上向き」のとき)、表示ボタン、明るさ調節ボタ
ン、照明切/入ボタンは、押しても点灯しません。

■ 受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信しますので、
右図のように、信号が遮断されたり、または蛍光灯照明器な
どによって、本体が受信できない場合があります。

- 受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影に
なるところ
- ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあ
るところ
- 受信部に蛍光灯照明器の光が直接当たっているところ



お知らせ

- このリモコンは、市販の学習リモコン(ラーニングリモコン)に記憶させてお使いになると、受信範囲
が著しくせまくなることがあります。
- 室温が低いとき(約10℃以下)や蛍光灯照明器を点灯させた直後は、数分間リモコン信号を受信しな
い場合がありますが、故障ではありません。
- 専用照明器(別売品)を点灯させたときは、リモコンの受信範囲が狭くなります。リモコン送信部と
受信部の間に専用照明器がさえぎらないような位置から、受信部に近づけて操作してください。

お願い

- 万一、本体が受信しない場合は、一度壁スイッチまたはブレーカーを「切」にし、羽根の回転を妨げるものが
ないか確認し、再度壁スイッチまたはブレーカーを「入」にしてからリモコン操作をおこなってください。
それでも受信しないときは、壁スイッチまたはブレーカーを「切」にして、お買い上げの販売店、
または電気工事に連絡してください。天井取付部や本体内部に異常がある場合があります。

取り付け後の点検

<取り付け後は、必ず、下記の点検・確認をしてください>

①取付金具と天井面の取り付けにガタつきはないか

確認

☐

■ガタつきがあるとき

- 取付金具を取り付けるねじがしっかり締めつけられているか
- 取付金具の回り止めのねじやナットは、しっかり締めつけられているか (C:ボルト取り付けをする場合)

②電源電圧は100Vになっているか

確認

☐

③始動して数分後にモーターに、
横揺れや振動がないか

確認

☐

■横揺れ、振動があるとき

- 羽根取付ねじがしっかり締めつけられているか
- 羽根が変形していないか
- ハンガーのみその位置が取付金具の切欠きと合っているか

お知らせ

- 取り付けが確実であっても、羽根の回転により、横揺れ（2～3mm）が残る場合がありますが、故障ではありません。

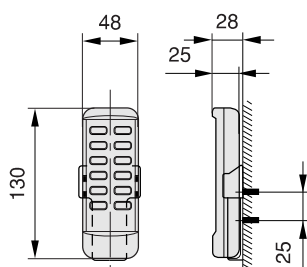
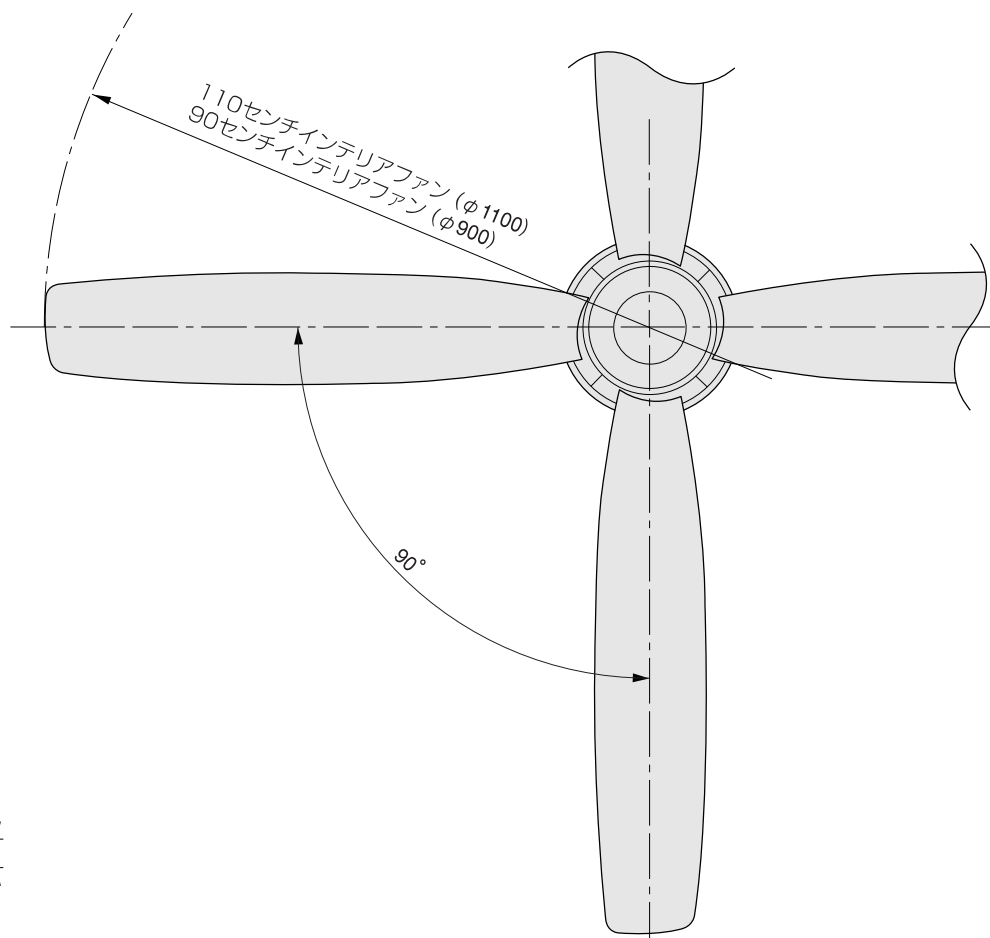
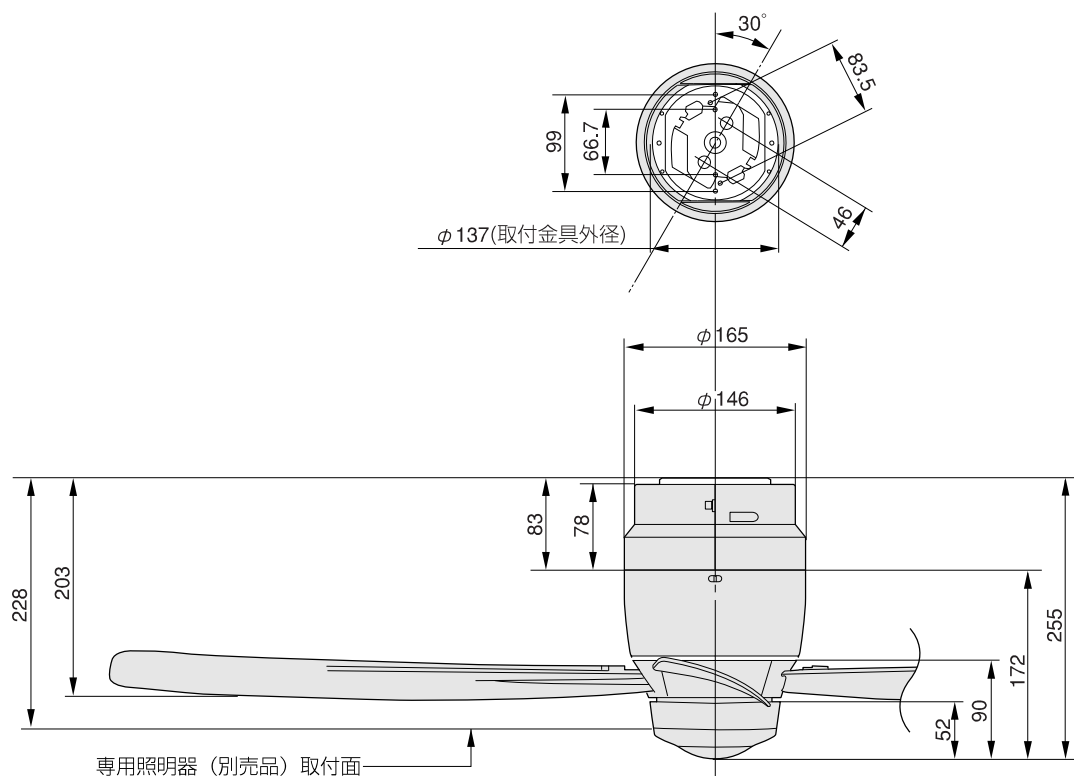
④リモコン操作と本体の動作は正常か

確認

☐

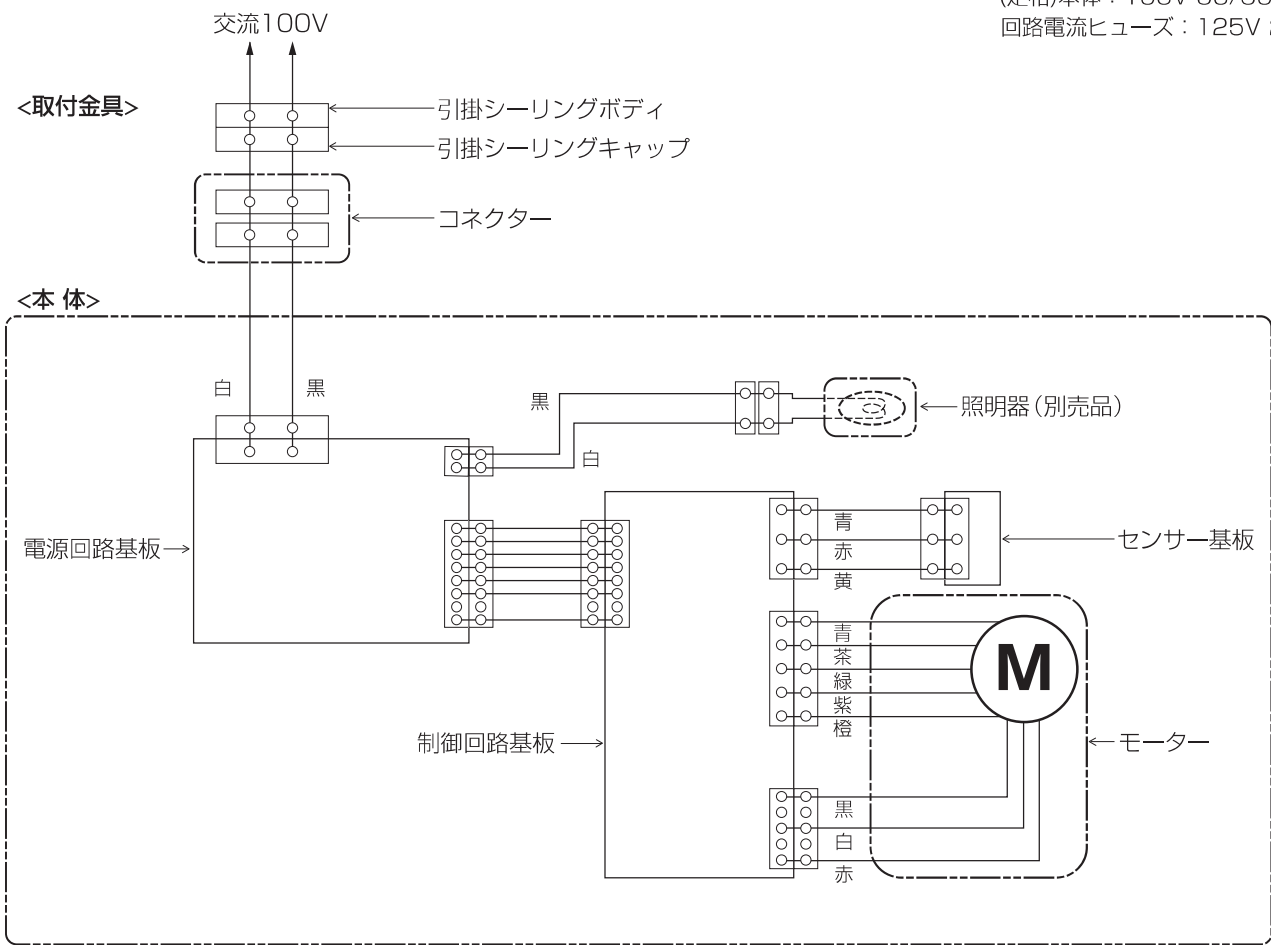
■「リモコンの受信を確認する」を参照し、壁スイッチを「入」にして、各動作確認をする

外形寸法 (単位：mm)



結線図

(定格)本体：100V 50/60Hz
回路電流ヒューズ：125V 2A



仕様

●風量が「強」、風向が「下向き」のときの値です。

型 番	電 圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	回転数 (r/min)	風 速 (m/min)	風 量 (m ³ /min)	本体質量※ (kg)
AEE595029 AEE595030	100	50/60	12/12	115/115	102/102	90/90	2.9
AEE595031 AEE595032	100	50/60	5/5	115/115	84/84	67/67	2.7

●リモコンで運転「切」のときの消費電力は約1.4Wです。

※本体質量は、取付金具とリモコンを除いた質量です。

●この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。
また、アフターサービスもできません。